



## わんちゃん・ねこちゃんも熱中症に注意！！

暑くてまいるのは人間だけではありません。  
熱中症にも十分気をつけていただきたいのですが、  
熱中症とは別に暑い季節に気をつけないといけないことが他にもあります。  
そのひとつが…



## 『 エチレングリコール中毒 』



今の時期、夏場の暑さ対策として「アイスパック(保冷剤)」を使用する事が多いと思います。  
冷蔵庫で冷やしておいて頭や首に巻いたり、わんちゃん・ねこちゃんをクールダウンさせるために  
使用したりと、何かと重宝するので常備している方も多いのではないのでしょうか。  
しかし、わんちゃん・ねこちゃんが齧って中身の成分を口にしてしまうと、中毒を起こしてしまう  
可能性があります。

冷やしても固まらないタイプの物は成分の中に『**エチレングリコール**』が含まれている場合があります。  
怖いことに、このエチレングリコールは**甘い味がする**ため、動物がかじって穴をあけた場合中から出てきたものを  
喜んでペロペロと舐めてしまい、**エチレングリコール中毒**になってしまう恐れがあるのです。

あまり聞いたことのない方も多いと思いますが、実はとても怖い中毒なんです！

**エチレングリコールとは…** ・溶媒、合成原料など、家庭や工場で使用される化合物で、身近なものだと保冷剤や、  
車の不凍液に含まれています。  
・最小致死量は体重1kgあたり犬で4.2～6.6ml、猫で1～1.5mlと少量です。

### 中毒の症状

摂取後、

**30分～12時間**

嘔吐  
元気消失  
多飲多尿  
フラフラする  
痙攣 など

**12～24時間**

頻脈  
呼吸が速くなる

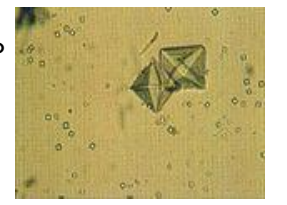


**24～72時間**

血尿  
乏尿  
腎障害



エチレングリコール自体は有毒ではありませんが、飲み込んだ後に肝臓で代謝されると強い毒となります。  
時間とともにどの代謝産物が作られるかによって臨床症状が異なりますが、  
シュウ酸カルシウムが産生されると、最終的には腎臓がダメージを受け、腎不全になってしまいます。



シュウ酸カルシウム

**「なんかフラフラしてるけど様子を見よう」と言っていると、あっという間に腎臓をやられてしまい、  
急性腎不全を起こして亡くなってしまうのです**

早い対処が必要なのに症状が分かりづらく、気づいた後では手遅れになっている可能性があるのが怖い中毒です。  
保冷剤は使い方によってはとても便利です。また、全ての保冷剤にエチレングリコールが含まれているとは限りません。  
**使う際は内容成分を確認し、必ず目が届くところで使用する事が大切です。**

万が一齧ってしまった場合は、齧ってしまった保冷剤を持って早急にご来院下さい。**この中毒は時間との勝負**です。  
エチレングリコールが含まれていない保冷剤でも、誤って食べてしまうと嘔吐や下痢などをしてしまうことがあります。



安全そうに見えて、実は危険な物が身近に存在していることがあります。  
よかれと思って用意してあげたもので、思わぬ事故を起こさないように十分にご注意下さい。